

奥羽大学発  
**健康宣言  
2019**



会場 第3講義棟  
開場 9:00  
開始 9:30

会場は  
こちらです

参加無料

駐車場  
完備  
(無料)

予約不要

9/7  
(土曜日)



9:30~10:30  
**人体の内部をみるために**  
＜歯学部＞ 宇佐美晶信 教授



10:45~11:45  
**微生物と共に健康に生きていく**  
～我々の古い友人達～  
＜歯学部＞ 小林美智代 講師

9/14  
(土曜日)



9:30~10:30  
**身のまわりの遺伝子組換えと  
ゲノム編集**  
＜歯学部＞ 前田 豊信 准教授



10:45~11:45  
**認知症患者と歯科治療**  
＜歯学部＞ 鈴木 史彦 准教授

9/21  
(土曜日)



9:30~10:30  
**がん化学療法を安心して受けるために  
知っておきたいこと**  
～抗がん薬の副作用対策～  
＜薬学部＞ 木皿 重樹 教授



10:45~11:45  
**ワクチンについて**  
～その歴史と今～  
＜薬学部＞ 小田中啓太 助教

9/28  
(土曜日)



9:30~10:30  
**妊娠・出産の昔と今**  
＜薬学部＞ 櫻井 敏博 准教授



10:45~11:45  
**同じクスリでも成分の形によって  
効果が違う？**  
～化学の視点から～  
＜薬学部＞ 金原 淳 講師

奥羽大学には**授業料を全額免除する特待生入試制度**がございます

お問合せ先

奥羽大学 学事部 TEL (024)932-8994

奥羽大学 検索

〒963-8611 郡山市富田町字三角堂31番1 FAX (024) 933-7372 E-mail : info@ohu-u.ac.jp http://www.ohu-u.ac.jp



後援／郡山市、郡山市教育委員会

## 人体の内部をみるために

＜歯学部＞ 宇佐美晶信 教授

9月7日(土)

解剖学は、人体の内部構造を知るための学問で、江戸時代から行われており、長い歴史があります。医学、歯学では献体による解剖学実習により人体の構造を学び、その知識が医療の現場で活用されます。しかし、患者さんを診察する臨床の場では解剖しないので内部を知ることが求められます。その手段として用いられるのがエックス線撮影で、主に病気の診断に利用されています。本講座では、エックス線撮影した画像を解剖学と関連付けてお話します。

## 微生物と共に健康に生きていく ～我々の古い友人達～

＜歯学部＞ 小林美智代 講師

我々の周りは微生物でいっぱいです。病気の原因となるもの、我々の役に立つもの、ただそこにいるものなど多種多様です。どんな除菌法を使っても周りの微生物を全部除くことはできませんが、近年、清潔すぎる環境が健康を損なうこともわかってきました。私たちは微生物に「生かされて」おり、将来も「共に生きて」いかななくてはなりません。本講座では、最新の知見も含めて「ヒトと微生物と健康の関わり」を紹介します。

## 身のまわりの遺伝子組換えとゲノム編集

＜歯学部＞ 前田 豊信 准教授

9月14日(土)

21世紀に入ってからのバイオテクノロジーは、驚異的な進歩を遂げています。この恩恵は、遺伝子組換え作物の普及による安定した穀物の収穫や、ヒトゲノムプロジェクトの成果を用いたiPS細胞から臓器作製などによる難病治療技術の開発など、多岐にわたります。本講座では、これらの技術を概観しつつ、最新のゲノム編集技術と今後の問題点について紹介します。

## 認知症患者と歯科治療

＜歯学部＞ 鈴木 史彦 准教授

現在、日本の認知症患者は約600万人であり、2025年には700万人を超えると予想されています。認知症が社会に与える影響は大きく、交通事故や介護職員への暴言・暴力等がマスコミで取り上げられています。本講座では、認知症の理解を深めるとともに、認知症の原因と歯や歯周病の関係、認知症の進行と歯科治療内容、認知症に対応できる歯科医師の探し方などをわかりやすく解説します。

## がん化学療法を安心して受けるために知っておきたいこと

～抗がん薬の副作用対策～

＜薬学部＞ 木皿 重樹 教授

9月21日(土)

抗がん薬を用いたがん化学療法は、新しい抗がん薬が次々と登場し飛躍的に進歩する時代になりました。しかし、がん化学療法の治療成績が着実に向上している一方で、様々な副作用を発現することも珍しくありません。このため、がん化学療法を受ける患者さんは治療効果に対する期待と同時に、副作用に対する不安もお持ちのことと思います。本講座では、がん化学療法における副作用の種類とその対処法や注意事項について解説します。

## ワクチンについて ～その歴史と今～

＜薬学部＞ 小田中啓太 助教

ワクチンは、感染症の「予防」に役立っています。「予防」という言葉には、自分が感染症にかかりにくくなるということ、その結果として他の人へ感染させないようにするという二つの意味が含まれています。したがって、地域、国や世界規模でワクチン接種を受けられる人が増えることで感染の拡大は抑えられます。本講座では、ワクチン研究の歴史や現在使用されているワクチン(百日咳ワクチンや肺炎球菌ワクチンなど)などについてお話します。

## 妊娠・出産の昔と今

＜薬学部＞ 櫻井 敏博 准教授

9月28日(土)

他の霊長類(類人猿)に比べると、ヒトの出産は飛び抜けて難産です。今こうして人類が繁栄しているのは、絶えることなく妊娠・出産が繰り返されてきたからにはほかなりません。現代の日本は、赤ちゃんが安全に生まれる国となっていますが、それでも出産は大きな苦痛と危険が伴います。産科学が発達しておらず、現代に比べるとギョッとするほど過酷だった時代にさかのぼり、これまでの出産の諸相を通史的に概観したいと思います。

## 同じクスリでも成分の形によって効果が違う?

～化学の視点から～

＜薬学部＞ 金原 淳 講師

突然ですが、右手と左手の手のひらをご覧ください。両手の形はよく似ています。しかし、その状態で、両方の手のひらをスライドさせて重ねても、全ての指を重ね合わせることはできません。この様な場合、化学では右手と左手は「異なるもの(異性体)」として区別します。クスリの成分でも同様の性質を示し、それぞれの成分の効果が異なることが多々あります。本講座では、その具体的な例と、クスリとなる成分を作る際の工夫を紹介いたします。

## 奥羽大学へのアクセス

JR 郡山駅から磐越西線に乗車し、郡山富田駅で下車。駅から徒歩4分。

## 第3講義棟

